

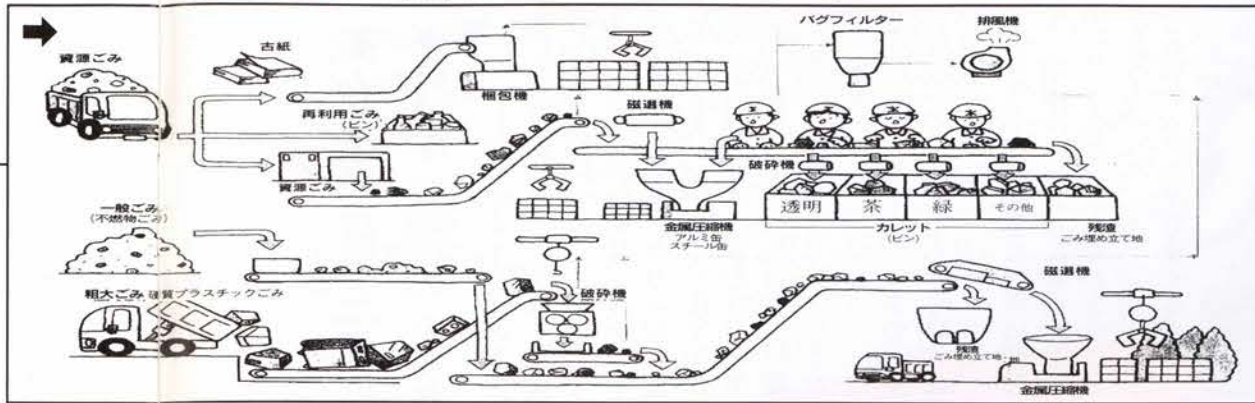


もえるごみの中に
こんな物が！
レッドカード！！

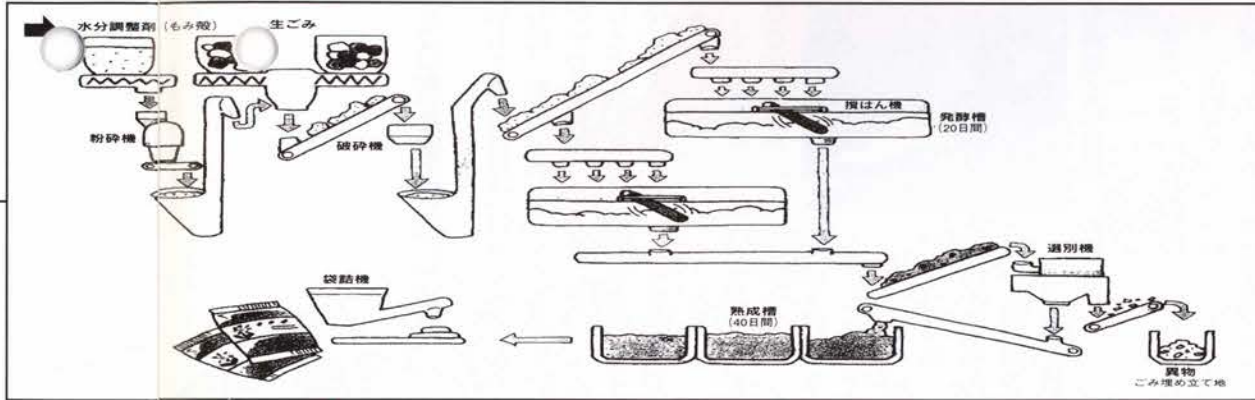
1年間で留萌市の処理するごみの量は留萌中学校の体育館でもあふれてしまうのだよ！

厚生年金・国民年金積立金還元融資施設

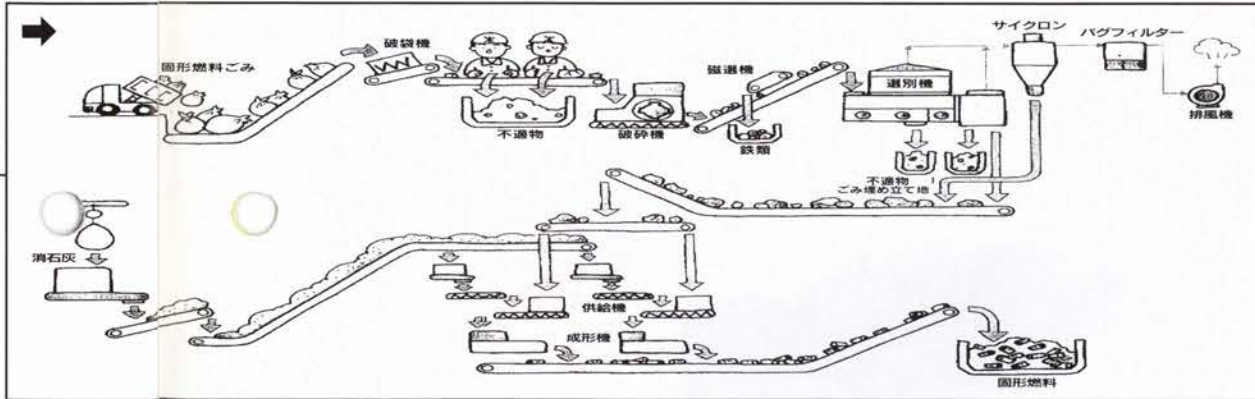
■ごみを資源化したり大きなごみを処理します



■生ごみを堆肥にします



■固形燃料をつくります



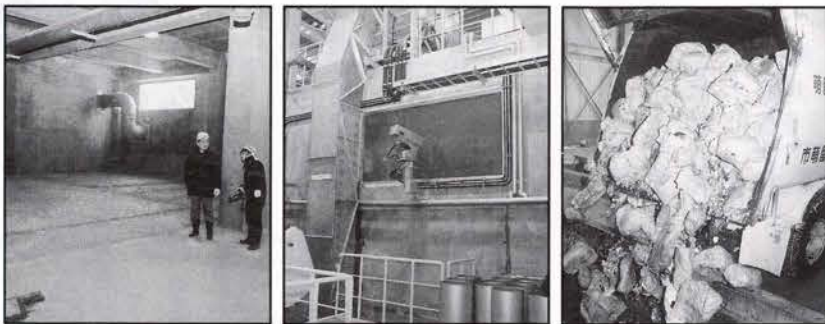
監視カメラは工場棟内に11カ所設置してあります。



▲中央操作室
ここで美・サイクル館全体を監視し操作します。



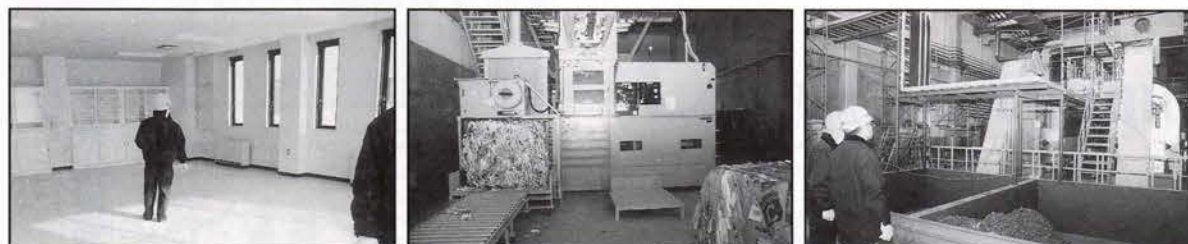
▲もえるごみと消石灰を混ぜて成形し、固形燃料にします。
▲人の手によってもえないごみを取り除きます。
▲もえるごみを投入します。



▲40日間かけて熟成させます。(熟成槽)
▲20日間かけて発酵させます。(発酵槽)
▲生ごみを投入します。



▲空き缶がプレスされ、ブロックにした後再生されます。
▲アルミ缶とビン(色ごと)に選別します。
▲缶・ビンを投入します。



▲管理棟(2階)のリサイクル工作室では市民がごみを活用して学べる部屋があります。また、1階には直して使える粗大ごみを実際に活用していく「リサイクル工房」もあります。
▲資源ごみ(新聞、雑誌、ダンボール)圧縮して梱包します。再生紙として活用されます。
▲固形燃料専焼設備
可燃ごみから作られた固形燃料を燃やして熱エネルギーを活用します。



▲計量室
自動的にごみを計ります



▲ストックヤード棟



▲工場棟



▲管理棟

